

2020年11月

メンバー各位

マリOTTバケーションクラブ アジア太平洋諮問委員会(AP 諮問委員会)からご挨拶申し上げます。
私たちの心に刻まれ何世代にもわたって記憶されるであろう、世界的規模での爆発的な疫病感染が継続する中において、皆様が安全にお過ごしであることを祈念しております。

諮問委員会を代表して、議長から、2020年の最新情報をお伝えいたします。

AP 諮問委員会のメンバーと義務

諮問委員会は、2008年のAP 諮問委員会設立当初から長年にわたり委員会へ貢献してきた山中明彦氏とアラン・チョイ氏の退任に際し、謝意を表明します。私たちのクラブに内在する複雑性に対する彼らの経験と貴重な洞察が失われることは大きな損失です。

今年の候補者選挙の結果を受けて2名の諮問委員が交代し、シンガポールのクリストファー・ウンと中国のヤン・ジアンを3年の任期で新メンバーとして迎えることを嬉しく思います。

諮問委員会は、2020年に立候補の届出を頂いたすべてのメンバーに感謝いたします。これはクラブに対する強い関心の証です。また2021年9月/10月には更に諮問委員1名が投票により選出されます。その選挙にはすべてのメンバーにおかれましてはオンライン投票へご参加頂くよう、強くお願い申し上げます。

諮問委員会での諮問委員の任務は、MVCI アジアパシフィック Pte Ltd (MVCI)のクラブマネージャーが提案する、年間維持費の算定根拠となるクラブの年間運営予算の承認または却下することです。この予算はクラブメンバーシップの管理に必要な費用であり、クラブリゾートの運営及び維持に要する費用、並びに将来のプロジェクトに備えた積立準備金を含みます。

2020年のクラブ主要事項

- ・クラブメンバー数は、予算での想定比に比して1.69%と僅かに下回りました。
- ・メンバーのポイント使用率は対2019年比64%減少し、渡航制限とリゾートの休業がメンバーに大きな影響を与えたため、ポイントの多くがマリOTTボンボイポイントに変換されました。
- ・疫病感染の爆発的進行はクラブに大きな打撃となり、アジア太平洋地域のリゾート全体の客室稼働率は30%にまで低下しました。
- ・クラブマネージャーは多数のプロジェクトを凍結し、厳格なコスト削減を実施し、対予算比で420万米ドルの余剰となりました。

国際的な渡航制限または検疫が継続しているため、一つの選択肢として国内での休暇が挙げられます。インターバル・インターナショナルのメンバーシップをお持ちであれば、インターバル・インターナショナルを通じて利用可能な選択肢をご確認頂けます。さらに、エクスプローラーコレクションオプションやクラブポイントからマリOTTボンボイポイントへの交換を利用して、マリOTTのホテルでの滞在も可能です。諮問委員会は、マリOTTおよびインターバル・インターナショナルのネットワークを通じての国内外での休暇の機会を含め、ポイントの使用オプションについてオーナーサービスに相談されることをメンバーの皆様に強くお勧めいたします。

2020年のクラブ予算

2020年の運営予算は現在のところ対予算比16.5%、金額にして約420万米ドルの余剰の状態で開催されています。主たる理由は次の通りとなります。

1. リゾート運営：

稼働率低下に起因する費用削減効果、人員縮小による人件費の削減、タイのマリオットマイカオビーチとインドネシアのマリオットバリヌサドゥアガーデンの休業、および各国での助成金。

2. 外国為替：

対米ドルでタイバーツ及びインドネシアルピア高での推移が、対米ドルでオーストラリアドル及びシンガポールドル安を相殺し、145,000米ドルの余剰金が発生。

3. 客室稼働管理：

オーストラリアのサーファーズパラダイスからクラブに11ユニットを新規追加する予定でしたが、その追加時期が遅れたため、2020年予算比245,000米ドルの費用削減を達成。

4. 外部業務委託：

外部に委託されていた業務を解約し、MVC従業員が担うこととしたことで、費用削減を達成。

財務方針

諮問委員会は、今後10年間の積立準備金および将来予想される改修/資本的支出を伴うプロジェクトの計画を検討しました。検討の結果、クラブの積立準備金に約400万米ドルを追加割当し、クラブの貸借対照表に計上することが賢明と判断しました。

この方針は会員のより大きな利益となり、今後数年間にわたりより柔軟な対応を可能とし、短期的には2022年及び2023年の年間維持費に対する増加圧力を緩和することにつながります。

クラブはまた、将来の為替変動に伴う損失に備えて、目的を限定したFX準備金科目を新たに創設し、145,000米ドルの為替変動により発生した損益を割り当てる為替変動（FX）対応方針を提案しました。クラブは複数通貨にわたる為替変動の影響下にあることから、この準備金により将来の予算と年間維持費が受ける為替変動からの影響を低減させる効果が期待されます。

2021年のクラブ予算決定

2020年11月9日に開催された諮問委員会において、クラブマネージャーは2021年の運営予算を提示し、あわせて2021年の年間維持費を2020年と同額にて提示しました。今般提示された予算は諮問委員会によって満場一致で承認されました。クラブマネージャーは2022年と2023年の維持費の増加を抑制するよう努めていきます。

ベルナデット・デニス、アラン・チョイ、山中明彦、ダニエル・ジャックマン、そして私から構成されるAP諮問委員会を代表して、2021年を通し引き続き、諮問委員会の決定においてはメンバーの皆様の利益関心が最優先されることとお約束いたします。

新型コロナウイルス感染が早期に収束し、メンバーの皆様が再び旅行に出られる環境が回復し、国内外を問わずクラブの便益を享受できるようになることを願っています。

ダンカンラインマリオットバケーションクラブ、アジア太平洋諮問委員会委員長

マリオットバケーションクラブ アジア太平洋諮問委員会委員長

ダンカン・クライン